



## 千川上水 まち歩き 北区編

城北地域会

2017年6月10日 旧千川上水（用水）をたどる まち歩き（北区編）を実施しました。

尾根筋を緩やかに流れていた千川上水の流れをたどりながら歩き、最後は滝野川の由来である落差のある道のりで、飛鳥山もやはり「山」と称するだけの高低差があります。

飛鳥山界隈は 徳川吉宗の時代から行楽地であり、見どころはたくさんあり・北区飛鳥山博物館にて「浮世絵の愉しみ」展で「滝野川大堰」や「不動の瀧」の歌川広重の浮世絵などを見学し景観を含め、その不動の瀧が存在した正受院と石神井川周辺・現在の景色を見聞しました。

□ 行程の概要を記しておきます。

板橋（埼京線）下車しJR板橋駅東口（滝野川口）駅前広場 午後2時に集合。

- 1、JR板橋駅東口・駅前を出発し。
- 2、近藤勇の墓所に立ち寄り
- 3、埼京線線路際（板橋区境）から千川上水の経路に沿って歩き始めます。
- 4、中山道と接する地点は尾根筋の微妙な高低差が感じられる地点
- 5、右手に谷端小学校を眺めながら旧谷端川の谷筋も感じながら歩く
- 6、道中 上水を暗渠にした時のマンホールがいくつか残存80年もの。
- 7、明治通りに近づくと、千川上水蓋の各種認められる。（亀の子束子に寄る）
- 8、千川上水分配堰 石碑 このあたりが 堀割 という地名です。
- 9、明治通りを渡ると豊島区千川上水公園・溜池これより 江戸へ木樋等で上水を供給
- 10、直角に曲がり、上水は王子分水となり幕末期反射炉を計画 大砲芯削る水車・（水力）用水
- 11、元宗教学校（大正大学・さざえ堂）を通過して不思議な区境の経路で 流れる千川用水
- 12、白山通りや明治通りを渡りながら旧道に添い流れ 天理教・教会へ
- 13、その教会前を、また直角に曲がりながら一路 反射炉の地へ 向かう
- 14、桜丘学園中高前から大規模な歩道橋を渡り・・・レンガ造・醸造試験所へ
- 15、ここで ○千川上水経路を一旦はずれ、◎北区飛鳥山博物館・浮世絵展へ向かいました。
- 16、醸造試験所の場所が幕府の反射炉計画地で、この大砲製造の為に開削した用水路です
- 17、石神井川 そして 逆川や千川上水・水道橋の遺構の場所です
- 18、上水は 石神井川を渡らねば 千川上水の終端まではたどり着きません。
- 19、川ぞいの正受院（不動の瀧）浮世絵の場所を見学。
- 20、音無親水公園・集合写真撮影

海食段丘である飛鳥山脇の王子駅裏の道から

駅 東口三角公園へ到着 17時30分でした。

○懇親会 会場（よし乃 にて）

不動の瀧 浮世絵  
広重





集合写真 親水公園にて

